

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（久米）中学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	<p>これまでの取組やたしかめテスト等から</p> <p>【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</p>	<p>○国語Aでは、資料を活用して答える問題や文の成分照応の問題は県平均と比べると低いが、漢字や語句の意味に関する問題は高い。</p> <p>○国語Bでは文を要約したり文章の展開に即して内容を理解したりする問題は県平均と比べると低いが、自分の考えを具体的に書く問題は高い。</p> <p>○数学Aでは、自然数や商などの用語の理解は県平均と比べて低いが、図形や関数分野などの他の分野はかなり高い。</p> <p>○数学Bでは理由を説明する問題は県平均と比べて低いが、図形や資料活用能力は高い。</p>	
	<p><b>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</b></p>	<p><b>進捗状況</b></p>	<p><b>来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</b></p>
市全 体の 取組	<p>「問題データベース」を活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、放課後、授業中に位置づけて全校一斉で取組む週間を設定する。</p>	A	<p>○ 「問題データベース」を各教科で活用し、基礎・基本の定着に活用した。</p> <p>○ 既存事項の復行に「問題データベース」を家庭学習の課題として利用した。</p>
①	<p>○ 毎日の授業の中でどの教科でも協同学習による「学び合い」の時間を設ける。</p>	A	<p>○ 協同学習を推進するための研究授業を100%達成でき、校内研修で今年度の成果と課題を共有した。今年度の課題を達成できる研修計画を作成し、新年度早々から授業実践ができるようにする。</p>
②	<p>○ どの教科でも資料を活用しながら自分の考えを筋道を立てて書いたり表現したりする活動を多く取入れる。</p> <p>○ どの教科でも授業の終わりに学習のまとめとして授業内容を自分の言葉でまとめる振り返りを行う。</p>	B	<p>○ 研究授業の後の研究協議の中で、成果と課題を話し合い、全教員が実践できるように取り組んだ。今年度の課題を達成するための研修計画を作成し、新年度早々から取り組めるようにする。</p>
③	<p>○ 久米中学校区の各小学校と連携してノーメディアに取り組む。</p>	B	<p>○ 今年度のアンケート結果や考察を各家庭に配布し啓蒙を行った。（3月）</p>

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」  
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」